

進路だより

第10号

高等部第3学年 社会人としてのマナー講習

高等部では、今春から社会人となる第3学年を対象にして、企業からの協力を得て、服装や身だしなみの講習会を開催しました。姿見の鏡に映るいつもとは違う自分の姿に、社会人に向けての夢や意欲が大きく高まりました。

ビューティー講座

協力企業：資生堂ジャパン株式会社

男女別に分かれて、卒業後に必要な身だしなみについて、実践を通して教わりました。

男子

洗顔

気持ちいい～

保湿



洗顔や保湿の必要性や身だしなみの整え方について教えてもらいました。

整髪

量はこのくらいです

女子

ファンデーションがきれいについたかな



化粧水や乳液の付け方、メイクの仕方を教えてもらいました。

生徒の感想 お化粧をするのは初めてだったけど、丁寧に教えてくれて分かりやすかった。「きれいよ」と言ってもらってうれしかった。

生徒の感想 洗顔フォームを使うのは初めてだったので、泡を立てたり、泡が残らないように顔を洗ったりするのが難しかったけど、4月から社会人になるので、これから毎日やってみようと思った。（←彼は、次の日には洗顔フォームを購入していました。）

着こなし講座

協力企業：青山商事株式会社

社会に出て必要となるマナーや、服装の選び方や着用の仕方などを教えていただきました。

スーツの知識を知ってね

椅子に浅く座る

ダンディーでしょ

ありがとうございました

はいポーズ

緊張するな～



生徒の感想 スーツを着ると大人の気分になりました。スーツの種類が沢山あることがわかりました。ネクタイを自分で締められるようになりたいです。とても楽しかったです。

第2回事業所参観日の開催

第1回、第2回の事業所参観日ともに、多くの事業所の参加がありました。作業学習等の授業見学を通して、参加者の方に本校への理解を一層深めていただき、多くの助言もいただくことができました。両日とも、今後の現場実習等の受け入れや卒業後の進路につながる有意義な日となりました。

第1回目の事業所参観日では、多くの企業や福祉サービス事業所の方々に御参加いただき、作業学習等の授業に取り組む様子や学校施設等をご覧いただきました。(「進路だより」第4号参照)

第2回の事業所参観日では、一般企業やA型事業所を対象に「働き続けること」をテーマにして、多くの障害者雇用や現場実習の受け入れを行っている企業の方からの講演をいただくという内容を盛り込んで開催しました。50社68名の方に御参加いただき、大盛況の中で会を実施することができました。

講演会



講師：青山商事株式会社
井原商品センター 細川孝志氏

「私たちの考え」は
障がい者だから・・・特別ではない
健常者だから・・・普通ではない

自分のものさしを人に当てると不満がでるため、
それぞれの得意分野で活躍してもらおう事や、
やがいを感じてもらうことが必要なのです。

(講演から抜粋)

参加者アンケートより



参加者のみなさんは講師の方の講演に魅了されていました。また、質疑応答では、参加者の方から多くの質疑があり、障がい者雇用や実習の受け入れについて、有意義な会となりました。

Q. 事業所参観日に参加しようと思った理由は何ですか。(複数回答)

- ・倉敷まきび支援学校の生徒や施設を見てみたいと思ったから・・・32名
- ・事業所で現場実習や障がい者雇用を検討しているから・・・14名
- ・今回の現場実習で実習生を受け入れたから・・・16名
- ・事業所の上司から参加するように言われたから・・・15名
- ・その他・・・8名

Q. 今後の現場実習の受け入れについてお尋ねします。(1つのみ)

- ・積極的に受け入れしたい・・・27名
- ・時期や作業内容等の条件が合えば、受け入れをしたい・・・29名
- ・受け入れをしたいが、本社や上司の意見が優先される・・・6名
- ・検討はするが、受け入れは困難である・・・1名
- ・その他・・・0名

Q. 自由記述

- ・生徒のみなさんの元気な挨拶がすてきだった。
- ・講演で企業側が知りたいこと、取り組むべきことなどを確認できよかった。
- ・障がい者雇用の実情を知ることができた。
- ・これからも支援学校と企業側と接する機会を増やして欲しい。
- ・「できることをできる人がする」リサイクル・受託班の学習の様子がよく分かった。
- ・見学時間が短かったので、生徒と触れ合える時間が少なかった。